

御注意

給与支払報告
特別徴収に係る給与所得者異動届出書

◎異動があった場合は、速やかに提出してください。

1. 現年度		2. 新年度		3. 両年度	
※市町村処理欄					
特別徴収義務者 指 定 番 号				※市町村ごと に異なります	
宛 名 番 号					
連絡先の氏名及び 所属課、係名並び に電話番号		課・係			
		氏名			
		電話	(内線)		
異 動 の 事 由 1. 退 職 2. 転 勤 3. 合 併 4. 休 職 5. 長期欠勤 6. 死 亡 7. 会社解散 8. 住所誤報 9. そ の 他 (特別徴収不可)		異動後の未徴収 税 額 の 徴 収		退職した年の1 月から退職時ま での給与支払額	
		1. 特別徴収継続 2. 一括徴収 (1月以降は必須)		円	
		{ 月分で納入 (月 日納期分)		控 除 社 会 保 険 料 額	
		3. 普通徴収 {理由		円	

◎給与の支払を受けなくなった後の月割額(未徴収税額)を一括徴収する場合は、次の欄にも記入してください。

一 括 徴 収 の 理 由		徴 収 予 定			相続人の氏名等		
1. 異動が平成 年 12 月 31 日 までで、申出があったため (月 日申出) 2. 異動が平成 年 1 月 1 日 以後で、特別徴収の継続の希望がないため		徴収予定 月 日	徴収予定額	徴収予定額合計 (上記(ウ)と同額)	氏名	続柄	
		.	円	円	住所		
		.	円				
異 動 者 印		.	円		電話		

1 (普C)	給与が少なく税額が引けない (例：年間の給与支給額が〇〇万円以下)
2 (普D)	給与の支払が不定期 (例：給与の支払が毎月でない)
3 (普E)	事業専従者 (個人事業主のみ対象)

◎転勤(転職)等による特別徴収届出書

新しい勤務先の特別徴収義務者指定番号 (※ 新規事業所の場合は記入不要です。)				連絡先の 氏名及び 所属課、 係名並び に電話番 号	課・係	新しい勤務先では 月割額 円を		※市 町村 記入 欄	
新しい勤務先の住所 (居所)又は所在地	〒				氏名	月分から徴収し、納入します。			
フリガナ					電話	新規の場合は、いずれかを○で囲んでください。			
氏名又は名称						納入書 要 ・ 不要			
代表者の職氏名印	印				(内線)				

4 新勤務先では最下段の事項を記載し、「一月一日現在の住所(課税地)」は、前勤務先へ送付願います。
また、前勤務先が個人事業主の場合、「給与支払者」は、前勤務先では記載せず、新勤務先へ送付願います。
ただし、「給与所得者」の欄の「個人番号」は、前勤務先では記載せず、新勤務先では最上段の事項を記載し、新勤務先に送付願います。
3 2 1 黒のボールペン又はペンで記載してください。
「宛名番号」の欄には、特別徴収税額通知書に記載された宛名番号を記載してください。
転勤、再就職等により異動後の勤務先で引き続き特別徴収を行う場合には、前勤務先で本人が番号の提供を受け記載してください。
また、前勤務先が個人事業主の場合、「給与支払者」は、前勤務先では記載せず、新勤務先へ送付願います。
新勤務先では最下段の事項を記載し、「一月一日現在の住所(課税地)」は、前勤務先へ送付願います。
また、前勤務先が個人事業主の場合、「給与支払者」は、前勤務先では記載せず、新勤務先へ送付願います。

御注意

4 新勤務先では最下段の事項を記載し、一月一日現在の住所(課税地)の市町村長に送付願います。

3 2 1 黒のボールペン又はブルーインクで記載してください。

ただし、「給与所得者」の欄には、前勤務先で引き続き特別徴収を受ける場合は、前勤務先で最上段の事項を記載し、新勤務先に送付願います。

新勤務先では最下段の事項を記載し、一月一日現在の住所(課税地)の市町村長に送付願います。

給与支払報告書 特別徴収に係る給与所得者異動届出書 (普通徴収記載例)

◎異動があった場合は、速やかに提出してください。

1. 現年度		2. 新年度		3. 両年度	
※市町村処理欄					
特別徴収義務者 指 定 番 号		12-34567		※市町村ごとに異なります	
宛 名 番 号		1234			
連絡先の氏名及び 所属課、係名並び に電話番号		課・係	人事課人事労務係		
		氏名	特徴 花子		
		電話	000-000-0000 (内線 123)		
異 動 の 事 由 ① 退職 ② 転勤 ③ 合併 ④ 休職 ⑤ 長期欠勤 ⑥ 死亡 ⑦ 会社解散 ⑧ 住所誤報 ⑨ その他 (特別徴収不可)		異動後の未徴収 税 額 の 徴 収		退職した年の1 月から退職時ま での給与支払額 円	
		1. 特別徴収継続 2. 一括徴収 (1月以降は必須)		1,200,000	
		③ 普通徴収 理由 異動の事由のとおり		控 除 社 会 保 険 料 額 円 60,000	
※「9. その他(特別徴収不可)」を選択された場合は、 次のいずれかの理由を必ず選択してください。					
1 (普B)		他の事業所で特別徴収 (例：乙欄適用者)			
2 (普C)		給与が少なく税額が引けない (例：年間の給与支給額が〇〇万円以下)			
3 (普D)		給与の支払が不定期 (例：給与の支払が毎月でない)			
4 (普E)		事業専従者 (個人事業主のみ対象)			

給 与 所 得 者		(ア) 特別徴収税額 (年税額)		(イ) 徴収済額		(ウ) 未徴収税額 (ア)ー(イ)		異動年月日	
受給者番号(整理番号)	フリガナ	スズキ イチロウ	円	6 月から	9 月から	× × ・ 8 ・ 31			
123456	氏 名	鈴木 一郎 (旧姓)	140,000	8 月まで	5 月まで				
生 年 月 日	昭和・平成	50 年 1 月 1 日	円	円	円				
個 人 番 号	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		35,600	104,400					
1 月 1 日 現在の住所	〇〇県××市△△3-2-1								
給与の支払を受け なくなった後の住所									

◎給与の支払を受けなくなった後の月割額(未徴収税額)を一括徴収する場合は、記入してください。

一 括 徴 収 の 理 由		徴収予定 月 日	
1. 異動が平成 年 12 月 31 日 までで、申出があったため (月 日申出)		・	
2. 異動が平成 年 1 月 1 日 以後で、特別徴収の継続の希望がないため		・	
異 動 者 印		・	

8月末で退職した給与所得者の徴収方法を、9月分から普通徴収に変更する場合。
(ア)特別徴収税額(年税額) 140,000円(6月から翌年5月分)
(イ)徴収済額 35,600円(6月から8月分)
(ウ)未徴収税額 104,400円(9月から翌年5月分)
↑
普通徴収税額

◎転勤(転職)等による特別徴収届出書

新しい勤務先の特別徴収義務者指定番号 (※ 新規事業所の場合は記入不要です。)		連絡先の氏名及び 所属課、係名並び に電話番号		課・係	氏名	電話	新しい勤務先では 月割額 円を 月分から徴収し、納入します。 新規の場合は、いずれかを○で囲んでください。 納入書 要 ・ 不要	※市町村記入欄
新しい勤務先の住所 (居所)又は所在地		〒						
フリガナ								
氏名又は名称								
代表者の職氏名印								

【提出先】 〒▲▲▲-▲▲▲▲▲ ●●市●●●● ▲丁目▲番▲号 ●●市役所●●部●●課●●係

御注意
4 新勤務先では最下段の事項を記載し、一月一日現在の住所（課税地）の市町村長に送付してください。
3 2 1 黒のボールペン又はブルーインクで記入してください。ただし、「宛名番号」の欄には、特別徴収税額通知書に記載された宛名番号を記載してください。
転勤、再就職等により異動後の勤務先で引き続き特別徴収を行う場合には、前勤務先で最上段の事項を記載し、新勤務先に送付願います。
ただし、「給与所得者」の欄の「個人番号」は、前勤務先では記載せず、新勤務先で本人から番号の提供を受け記載してください。
新勤務先では最下段の事項を記載し、一月一日現在の住所（課税地）の市町村長に送付してください。
異動がなかった場合は、速やかに提出してください。

給与支払報告書
特別徴収に係る給与所得者異動届出書（一括徴収記載例）

○異動があった場合は、速やかに提出してください。

1. 現年度		2. 新年度		3. 両年度	
※市町村処理欄					
特別徴収義務者 指 定 番 号		12-34567		※市町村ごとに異なります	
宛 名 番 号		1234			
連絡先の氏名及び 所属課、係名並び に電話番号		課・係	人事課人事労務係		
		氏名	特徴 花子		
		電話	000-000-0000 (内線 123)		
異 動 の 事 由 ① 退職 ② 転勤 ③ 合併 ④ 休職 ⑤ 長期欠勤 ⑥ 死亡 ⑦ 会社都合 ⑧ 退職 ⑨ 退職 ⑩ 退職 ⑪ 退職 ⑫ 退職 ⑬ 退職 ⑭ 退職 ⑮ 退職 ⑯ 退職 ⑰ 退職 ⑱ 退職 ⑲ 退職 ⑳ 退職 ㉑ 退職 ㉒ 退職 ㉓ 退職 ㉔ 退職 ㉕ 退職 ㉖ 退職 ㉗ 退職 ㉘ 退職 ㉙ 退職 ㉚ 退職 ㉛ 退職 ㉜ 退職 ㉝ 退職 ㉞ 退職 ㉟ 退職 ㊱ 退職 ㊲ 退職 ㊳ 退職 ㊴ 退職 ㊵ 退職 ㊶ 退職 ㊷ 退職 ㊸ 退職 ㊹ 退職 ㊺ 退職 ㊻ 退職 ㊼ 退職 ㊽ 退職 ㊾ 退職 ㊿ 退職		異動後の未徴収 税 額 の 徴 収		退職した年の1 月から退職時ま での給与支払額	
		1. 特別徴収継続 2. 一括徴収 (1月以降は必須)		円 1,200,000	
		9 月分で納入 (10月10日納期分)		控 除 社 会 保 険 料 額 円 60,000	
理由		収不可)を選択された場合は、 を必ず選択してください。			
一括で徴収した税額を納入する月 ※1月以降の退職の場合は、原則一 括徴収が基本となります。					
氏名		続柄		1 (普B) 他の事業所で特別徴収 (例：乙欄適用者)	
住所				2 (普C) 給与が少なく税額が引けない (例：年間の給与支給額が〇〇万円以下)	
電話				3 (普D) 給与の支払が不定期 (例：給与の支払が毎月でない)	
				4 (普E) 事業専従者 (個人事業主のみ対象)	
新しい勤務先では		※市町村記入欄			
月割額		円を			
月分から徴収し、納入します。					
新規の場合は、いずれかを○で囲ってください。					
納入書		要 ・ 不要			

給 与 所 得 者		徴 収 予 定	
受給者番号(整理番号)	フリガナ	スズキ イチロウ	
123456	氏 名	鈴木 一郎	(旧姓)
生 年 月 日	昭和・平成	50 年 1 月 1 日	
個 人 番 号	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		
1 月 1 日 現在の住所	〇〇県××市△△3-2-1		
給与の支払を受け なくなった後の住所			
一 括 徴 収 の 理 由		徴 収 予 定	
①. 異動が平成××年 12 月 31 日 までで、申出があったため (8 月 25 日申出)		徴収予定 月 日	徴収予定額
2. 異動が平成 年 1 月 1 日 以後で、特別徴収の継続の希望がないため		9 ・ 20	円 104,400
異 動 者 印			円 104,400
			円
			円

8月末で退職した給与所得者の徴収方法を、9月分で一括して納入
する場合。
(ア)特別徴収税額(年税額) 140, 000円(6月から翌年5月分)
(イ)徴収済額 35, 600円(6月から8月分)
(ウ)未徴収税額 104, 400円(9月から翌年5月分)
↑
一括徴収税額(納入額と同額)

新しい勤務先の特別徴収義務者指定番号
(※ 新規事業所の場合は記入不要です。)

新しい勤務先の住所
(居所)又は所在地

フリガナ

氏名又は名称

代表者の職氏名印

【提出先】〒▲▲▲-▲▲▲▲▲ ●●市●●●● ▲丁目▲番▲号 ●●市役所●●部●●課●●係

